

1. 日時 平成 25 年 6 月 4 日(火) 13:30-15:30

2. 場所 電気学会会議室 3~5 会議室

3. 出席・欠席者 (敬称略) :

○出席

竹下 (編修長 (退任)、名古屋工業大学)、森本 (編修長 (新任)、東海大学) 寺田 (副編修長、徳島大学)、村上 (編修長補佐 (退任)、慶應義塾大学)、綾野 (D1 主査、東京高専)、岩崎 (D2 主査、名古屋工業大学)、野口 (D3 主査、静岡大学)、叶田 (D4 主査、日立製作所)、近藤 (D5 主査、千葉大学)、中沢 (D1 副主査、東芝、記録)、浜松 (D4、D5 副主査、日本大学)、廣塚 (D3 幹事、中部大学)、

×欠席

高橋 (D2 副主査、香川大学)、樋口 (D3 副主査、長崎大学)、三野 (D1 幹事、富士電機)、駒田 (D2 幹事、三重大学)、鈴木 (D5 幹事、筑波大学)、大石 (英文誌編修長、長岡技術科学大学)、姉崎 (ゲストエディタ、沖縄工業高専)、小田 (ゲストエディタ、千歳科学技術大学)、佐藤 (ゲストエディタ、千葉大学)、柴田 (ゲストエディタ、成蹊大学)

4. 提出資料

H25-1-0-1 平成 25 年度第 1 回 D 部門主査会議事 (寺田)

H25-1-0-2 主査会メンバー一覧 (寺田)

H25-1-1 第 6 回産業応用部門論文委員会主査会議 議事録 (案) (中沢)

H25-1-2-1 電子査読システムの運用状況 (日本語論文誌) (寺田)

H25-1-2-2 電子査読システムの運用状況 (共通英文誌) (寺田)

H25-1-3-1, 2 特集号の論文処理状況 (寺田)

H25-1-3-3 特集号企画のお願い (近藤)

H25-1-4 論文委員候補者推薦用紙 (綾野、野口)

H25-1-5 論文賞、論文査読香料賞候補について (竹下)

H25-1-6 「電気学会論文誌 D の査読が論文指導になっていることへの抗議書」に対する回答案 (竹下)

H25-1-7 平成 24 年度第 5 回産業応用部門役員会議事録 (竹下)

H25-1-8-(a) 電気学会投稿論文などの査読結果報告要領 (竹下)

H25-1-8-(b)-1 論文査読のあり方についてのご質問 (竹下)

H25-1-8-(b)-2 シミュレーション論文についての提案 (竹下)

H25-1-8-(c) 電気学会全国大会グループ主査一覧 (竹下)

5. 議事

5.0 主査会メンバー確認

資料 25-1-0-2 に基づき主査会メンバーが確認された。

5.1 前回議事録の確認

前回議事録について、誤字訂正を条件に、承認された。

5.2 電子査読システム運用状況

資料 25-1-2-1,2 に基づき、電子査読システム運用状況の報告があった。

旧システムの論文は少数残っている。忘れずに対応しきってほしい。

5.3 特集号状況確認

資料 25-1-3-1 に基づき、特集号「半導体電力変換研究会」に関する論文査読状況説明があった。資料 25-1-3-2 に基づき、特集号「産業計測自動制御、メカトロニクス制御」に関する論文査読状況説明があった。

5.4 論文委員の推薦について

資料 25-1-4 に基づき新規論文査読委員候補者推薦があった。審議の結果、承認された。

5.5 論文賞、論文査読功労賞について

資料 25-1-5 に基づき論文賞、論文査読功労賞候補者について説明があった。論文査読功労賞候補者の選考基準のひとつである 30 年以上の論文委員経験という条件を満たす候補者を探したが選出できず、30 年

以上の論文委員経験という選考基準をなくす方向で、規定を改定する予定である旨報告があった。新基準に基づき3名の候補者推薦があった旨報告があった。

5.6 「電気学会論文誌 D の査読が論文指導になっていることへの抗議書」に対する回答案について

資料 25-1-6 に基づき、論文査読が論文指導になっていることへの抗議書に対する回答案について報告があった。

1. 電気学会共通査読ルールを逸脱しているとの指摘についての回答文について審議があった。修正したうえで、文案通りで回答することになった。

2. 論文指導があったとの指摘についての回答文に関する審議があった。上記意見・コメントを踏まえて、回答文案修正し、査読者にも確認をして、担当グループと編修長、副編修長でメール審議を行い、回答文を確定したうえで、回答することとした。

審議の中で、新任査読者への教育はどうやっているか？意見交換会で十分機能しているか？査読者への意識統一、レベル統一をやる場が必要ではないか？との意見があった。

5.7 役員会報告

資料 25-1-7 により役員会 議事の説明があった。

5.8 その他

(a) 論文査読方針の対応について

資料 25-1-8-(a) に基づき、「電気学会投稿論文等の査読結果報告要領」の修正について報告があった。「照会事項及び判定理由について、・・・」は、「以下の点にご留意の上、作成してください。・・・」の部分が追加になった。また、公開出版物の定義が追加になったことが報告された。

(b) 論文委員会に対する意見について

資料 25-1-8-(b)-1 に基づき、論文査読のあり方についての質問と題した会員からの問題提起メールについて審議を行った。電気学会論文誌 D に既掲載論文について、技術誤りがあり、査読のあり方に問題がなかったかとの問題提起であった。技術内容として解釈によっては間違いではないととらえることができること、論文の内容に対する責任は著者にあることもあり、回答案にて回答することとなった。

資料 25-1-8-(b)-2 に基づき、査読者からの論文査読に対する提案コメントに対する回答案について審議を行った。実験結果のないシミュレーションだけの論文について、論文タイトルにそのことがわかるように表記させてはどうかとの趣旨。審議の結果、論文の満たすべき条件は創造性、新規性、有用性などの5項目であり、シミュレーションのみであることで認められないことにはならない。審議内容をベースに D1 綾野主査から回答することになった。

(c) 電気学会全国大会

従来通りグループ主査は D1~D3 主査で担当することが確認された。英文論文誌にインパクトファクターがついた時点で英文論文主査会が全国大会の人事に加わるかを議論する。

5.9 特集号企画のお願い

資料 H25-1-3-3 に基づき、特集号企画依頼の報告があった。応用分野(D4,D5)で2件しかないのもっと企画するよとということをも明記する。英文誌ができたのだから、基礎は英文、応用は和文で頑張りたいということも記載。特集号企画の少ない技術委員会名を出してエンカレッジすることとなった。

5.12 次回開催日

2013年8月30日(火) 13:30-15:30

(偶数月の第一火曜日を基本とする。)